

# 旭川市手話施策推進会議内容報告書

[令和7年度 第2回 旭川市手話施策推進会議]

開催日時 令和8年1月22日(木)  
午後6時30分～午後7時45分  
開催場所 旭川市7条通9丁目  
旭川市総合庁舎7階 大会議室B

会議の名称	令和7年度 第2回 旭川市手話施策推進会議	
出席者 委員(7人) 事務局(3人)	橋本由美委員、小山輝義委員、菅原さとみ委員、栗田克実委員、宗万章子委員、 金田有里子委員、難波和枝委員 水上障害福祉課長、紺野障害福祉課主幹、森本障害事業係員	
傍聴者数等	1人(会議は全体を通して公開)	
議事の内容 議題1 議題2	令和7年度意見交換会 旭川市手話言語に関する基本条例制定10周年記念事業	
審議内容及び 主な意見等  (開会)		<事務局紹介>
議題1「令和7年度意見交換会」	会長	議題1について、事務局から説明をお願いします。
	事務局	[資料1～2に基づき説明]
	会長	本日欠席の委員からの意見を事務局で預かっているとのこと。 事務局から補足で説明はあるか。
	事務局	6点ほど意見交換会について意見を預かっている。 まず、目的に「不安や求める支援について確認」とある。 聞こえにバリアのある方々は、見ただけでは分からないため、会ったことがないという声をよく耳にする。 そのため、当日の配付資料に、YouTube「聴覚障害者の災害時に困ることって？パラパラ漫画」の動画視聴を周知してほしい。 コミュニケーションボードの啓発もお願いしたい。 また、「聞こえる人も聞こえない人も災害から命を守るために」のパンフレットを配布してほしいとの意見を頂いた。 こちらの意見に対して、YouTubeについては、災害時の動画の案内等とともに行い、コミュニケーションボードについては、当日、会場に現物を提示したいと考えている。 パンフレットについては、ろうあ協会に少し部数があるはずだとの情報も頂いているため、ろうあ協会の協力を得ながら配布等を検討したい。 次に、実施方法について、昨年、子どもの参加がなく残念に感じた。災害時、子どもは大人とともに避難する。 このような機会を通し、学校では触れないこと、発見や学びをしてほしい。また、

	<p>他の子ども向けイベントでは、キッチンカーを呼び、参加が多かったとも聞いているとの意見をいただいた。</p> <p>意見交換会について、市内の高校及び大学にも案内を予定しているため、ぜひ若い人達にも参加していただければと思っている。</p> <p>キッチンカーについては、意見交換会が実行委員会形式等の主催ではなく、市主催の事業であること等から、営利目的の内容については実施困難と考えている。</p> <p>その他の意見として、昨年、外国の方の参加があり、通訳の必要性を感じた。</p> <p>また、市内の看護師の方から、「全身やけどの方が救急で運ばれ亡くなった。火事の音が聞こえず、逃げ遅れたため。」と聞き悲しんだとの意見をいただいた。</p> <p>通訳については、今後の参考としたいと考えており、看護師の話については、意見交換会等を通じ、誰もが安心して生活できるまちになるよう、今後も取り組んでいきたいと改めて考えている。</p>
会長	質問・意見があれば、挙手で発言をお願いします。
E 委員	ろうあ協会に周知をお願いするとのことだが、難しい部分もある。土曜日、日曜日に仕事がある方もいるため、参加が難しいかと思う。
会長	お願いというのは、参加についてか、講師に対するお願いか。
事務局	可能な限り、意見交換会への参加の周知をお願いしたいと考えている。講師の依頼もそうだが、実際の参加もお願いしたい。
会長	つまり講演の協力の依頼と、周知の依頼。ろう者に来てもらわなければ、このイベントは成り立たないということ。
D 委員	昨年の意見交換は土曜日だったか。
事務局	日曜日。
D 委員	昨年度はろう者の参加者が少なかった。募集はするが、ろうあ協会の会員も減っているため、なかなか難しい部分もある。改めて募集はしたいと思う。
	逆に、昨年度の意見交換会で、聞こえる参加者は手話関係者が多かった。手話のことを分かっているため、難しい部分とやりづらい部分があった。手話が分からない人を集めていただけると良いので、学生に呼び掛けるのも良い方法かと思う。
	併せて、手話関係者やサークル員の中で、手話の経験が浅い方等、バランスをとりながら参加者の工夫をすることもお願いしたい。
事務局	手話が分からない方に、身ぶり手ぶりで情報を伝えるということを1番に経験していただきたいと思っているので、手話の関係者もそうだが、手話の分からない方、若い学生の方により多く参加していただけるように、幅広く周知していきたいと考えている。
	今年度は高校や、大学に周知の幅を広げ、広く周知したい。
会長	大学はすでに授業が終わっているため、難しい部分もあるかもしれないが、周知はしてもらいたい。
E 委員	難聴の方も含めての募集でよろしいか。

事務局	中途難失聴者協会にも周知をお願いする予定。
A 委員	聾学校等にも、募集をかけてみるのはどうか。
事務局	聾学校の学校運営協議会の委員をさせていただいているが、2月上旬に会議があるため、そこで話したいと考えている。 また、聾学校の応援団のようなサポーターズという、ボランティアのような制度もあり、何名か登録されていると聞いているため、そこにも周知をお願いしたいと考えている。
D 委員	講演について、ろうあ協会に依頼ということだが、講演はあえていらぬのではないか。昨年度のワークショップで様々な経験をして、グループで感想を話し合う時間に「手話って何？」という質問があった。その場で質問したり、自分達のグループではこういうことがあったということを発表したり、とても効果が大きかった。 講演については省略し、避難訓練等のグループワークに時間を長く使った方が良い。
会長	講演部分のプログラムをなくし、避難訓練や体験に時間を割いてはどうかという意見があったが、皆さんはどうか。
F 委員	話を聞いた内容は意外と忘れてしまうが、経験というのは記憶に残るため、経験する時間を重点的に増やすという意見には賛成。 手話のレクチャーをするのであれば、避難訓練の中で実際に困ったこと、これを伝えるのに困った。そこに対して、こういう手話を覚えたら伝わるという話をすることで、避難訓練と繋げた内容にした方が良いのではないか。
会長	この意見を一度事務局に任せるといいか。
事務局	講演については、頂いた意見を参考に再度検討させていただきたい。 ただ、手話が分からない方にも、簡単な手話のレクチャーだけをお願いしたいと考えている。一度持ち帰って検討したい。
会長	避難訓練後に講演をするのではなく、冒頭に少し手話のレクチャー入れた方が良いのかなとも思う。 これまでの意見交換会は講演をメインでやっていて、様々な議論の中で、体験を増やしていこうというような話だったと思う。これをやめるやめないは別として、レクチャーをしていただくという取組はあってもいいのかなと思う。 ただ、その順番をちょっと検討いただきたいと思っているがどうか。
F 委員	レクチャーをしてもらって、避難訓練の中でその手話を使うという体験をするのがいいのか。避難訓練で困った経験をしてからレクチャーを受けるのがいいのか、少し迷うところ。これは皆さんの意見をお聞きしたい。
C 委員	まず実践をして、後からレクチャーを受け、こういう手話があったんだということを改めて勉強するほうが良いのではないか。 まずどのように表現するんだらうということをお自分で考えて、考えたことをやってみた方が良く思う。 さっきのパンフレットも勉強になると思うので、帰りに改めてこういう手話があ

議題2「旭川市手話言語に関する基本条例制定10周年記念事業」	B委員	<p>ったんだということを勉強して、興味を持ってもらう。手話を何も知らない状況の方にとっては、その方が良いと思う。</p> <p>先に手話を教えてもらおうと、それで表現しなくてはならないのかと躊躇してしまう。間違っって使ったらどうしようというような迷いが出てきそうなので、体験の後からレクチャーを受けた方が良いのではないかなと思う。</p>
	A委員	<p>私も同じように、まずは困りながらも身振り手振りでやってみて、その後に手話を教わって、そうすればよかったんだということが分かったほうが良いかなと思う。</p> <p>手話関係者からすると、手話を覚えてもらいたいという気持ちがあるが、C委員やB委員の意見はとても貴重。いざ困ったときに、どうしたら良いのかということを経験してから、ろう者はこういうことが困るんだと実感する時間があるって、そこから体育館まで移動して、レクチャーを受けて少し休憩する。そこから段ボールベッドを作るという流れはスムーズ。体にそこまで負担もかからないため、高齢者も参加しやすいのではないかなと思う。</p>
	会長	<p>一度事務局で検討していただいても良いか。</p> <p>まずやってみて、どんなことが困ったのか等を最後に共有して、また次に進めていくというのが一番大事なので、そこがしっかりとできるような流れを構築してもらえればと思う。</p> <p>実際に経験してみても困ったことはどんなことなのかが集積されて、次に向けて進めていければと思う。</p> <p>いずれも体験を重視していくというのは、ここ数年間の意見の反映でもあるので、次年度以降、また少し新しい取組もやっていただければと思う。</p> <p>この意見交換会の結果はまた協議されるのか。</p>
	事務局	<p>今回の会議、来年度の1回目の会議で報告する予定。</p>
	会長	<p>プログラムに関しては、このまま進めてほしい。</p>
	会長	<p>次に議題(2)「旭川市手話言語に関する基本条例制定10周年記念事業」について、事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>[資料3～4に基づき説明]</p>
	会長	<p>本日欠席の委員からの意見を事務局で預かっているとのこと。</p> <p>事務局から補足で説明はあるか。</p>
	事務局	<p>10周年記念事業について、2点ほど意見をいただいている。</p> <p>記念イベントについて、会場となるおびつ内や体育館に手話に関する本や、ろう者やろう学校児童の作品展示を行ってはどうか。また、子どもやその親子の参加拡大のためにも、キッチンカーやマルシェのような物販を行って、との意見をいただいた。</p> <p>こちらの意見に対する事務局の考えだが、本や作品展示については、今後、会場のスペース等を考慮しながら、実施の可能性について検討していきたいと考えている。</p> <p>キッチンカーについては、意見交換会と同様に、市主催の事業であることから、難しいものと考えている。</p> <p>次にパネル展示について、感想やメッセージコーナーの設置、ブルーライトアップを写真付きで周知をしてはどうか。可能であれば、手話体験ブースの実施とい</p>

		<p>う意見をいただいた。 これらの意見に対して、パネル展示については、いただいた意見も参考に、今後、詳細を詰めていきたいと考えている。</p>
会長		<p>質問・意見があれば、挙手で発言をお願いします。</p>
E 委員		<p>おびったの駐車場について、CoCoDe でイベント等があると必ず混み合う。駐車場について対策はあるのか。</p>
事務局		<p>おびったを会場とした場合、他の場所に駐車場を確保することは難しい。イベントの状況等も考慮しながら対策できることがあればとっていきたいが、おびったも CoCoDe も共同の駐車場となっている。公共交通機関の利用が難しい方もいると思うが、具体的な対策案は持ち合わせていない。</p>
D 委員		<p>日程について、9月6日か13日とのことだが、9月13日はろうあ団体や手話サークルの方々が参加される北海道レベルの大会があるため、難しい。 7月か8月開催は難しいのか。</p>
事務局		<p>7月については、先ほど説明したとおり、事務局の準備期間等の兼ね合いから、もう少し後ろにしたいという考えと、8、9月も暑い日が続くが、8月についてはおびったの体育館も冷房が効いているとはいえ、暑さ対策が必要な時期でもあるため、9月開催で考えている。 予算の関係もあるため、現時点で9月6日とは言い切れないが、施設の予約状況を確認しながら決めたい。</p>
D 委員		<p>パネル展示とデジタルサイネージの放映の期間が少し違うが、何か意味はあるのか。</p>
事務局		<p>本来であれば同時期に、パネル展とデジタルサイネージの掲載を行う予定だったが、パネル展については、7月1日から既に別のパネル展の予定が入っており、スペースがないため、前倒しにして6月から展示とした。 デジタルサイネージについては、条例制定が7月1日のため、7月1日から31日までの1か月間での放映を予定している。</p>
D 委員		<p>参加者に配布するバンダナについて、希望者に対してどのように配布するのか。 また、デザインについて、「目が不自由」、「耳が不自由」という言葉に少し抵抗がある。「不自由」という言葉は目が見えない、耳が聞こえない人の範囲だけのイメージがある。聞こえにくい方は手話ができず、要約筆記を利用するため、「筆談ができます」という言葉にもできる。その他に盲ろう者もいる。 「見えにくい」、「聞こえにくい」等、表現を工夫したり、手話のマークを活用する等、検討してほしい。</p>
事務局		<p>配布方法については、イベントからお帰りの際に希望者に配布する予定。予算の兼ね合いもあり、多くは配布できないが、1人1枚当たるように予算要求している。 バンダナのデザインについて、旭川市でデザインしたものではなく、既製品のため、文字の修正等は難しいかと思う。</p>
D 委員		<p>もう決まってしまうってということか。相談はないのか。 聞こえない、聞こえにくい人に対しては、少し抵抗がある。既製品を使うという</p>

その他		のは少し違うのではないか。もうデザインは変更できないのか。
	事務局	可能性について0ではないが、現在は既製品を購入するということで予算を要求している。 予算の範囲内で既製品から印刷への変更が可能か検討することはできる。ただ、1枚当たりの単価が上がる可能性があるため、配布枚数等に少し工夫が必要になる。若しくは既製品で違うデザインを検討する等、相談させていただきたい。
	D 委員	今後は旭川ろうあ協会に相談という意味か。
	事務局	時期的に次回の会議は間に合わないため、個別に協議させていただきたい。
	D 委員	案があるため、後程共有したい。
	A 委員	時期について、9月13日には北海道大会がある。ろう者や関係者が参加されることが多いと思うので、他の候補日が良いと思う。
	会長	意見については、先ほどの回答と同様とさせていただく。 他に意見・質問はないか。
	会長	バンダナについては協議しながら進めてもらい、次年度の第1回目の会議で、最終的な取組内容が示される。よろしくお願ひしたい。
	会長	以上で、本日の議事に対する審議を終了する。
	会長	次にその他であるが、委員から何かあるか。
	事務局	本日欠席の委員から、その他として意見をいただいている。 ろう学校の保護者の方と話す機会があり、ろうの児童、その親についてなかなか理解されず、窮屈さを感じていると聞いたとのこと。 こうした推進会議も含め、手話サークルや、ろうあ協会だけではなく、地域のろう児童やその親等、微力ながら支えていければとの意見。
	C 委員	毎年行うイベントも大事だと思うが、やはり継続的に、年間を通して小学校等で手話を勉強する機会は年に何回程あるのか。小学校で手話教育のようなことはされているのか。
	事務局	学校のカリキュラムの中に手話を取り入れられているということはないが、総合的な学習の時間で手話出前講座を活用して手話を習うことはある。 昨年度、小学校は全17回手話出前講座を行っており、毎年年間20回前後行っている。 また、毎年小学校4年生を対象に、手話のリーフレットを配布しており、活用させていただいている。
C 委員	年間で20回というのは、例えば1校に1回という計算か。	
事務局	全部の学校ではなく、希望のあった学校で手話出前講座を行っているため、年1回だったり、行わない学校もある。	
C 委員	小さい頃から手話を知るといことがとても大事だと思う。	

		<p>例えば小学校で、毎週は無理かもしれないが、1週間の1番最初の朝の会で5分程手話のDVDを見る等はできると思う。</p> <p>朝、子ども達が勉強する前に見たり、給食の時間にDVDを流す等、継続することが大事。</p> <p>イベントも大事だが、イベントだと本当に興味のある方や、お声がけできる方が限られてくる。手話を全く知らない方に広めていくということが手話の推進に繋がると思うが、不可能だと思うと進まない。</p> <p>例えば1年生から6年生まで年2回子ども達に伝えることができれば、合計12回学ぶことができる。</p> <p>イベントのときに集まってもらっただけではなかなか浸透しないし、手話が言語であるということを伝えることは非常に大切なことなので、旭川市として何か学校に伝えることはできないのか。</p> <p>学校の先生も忙しいとは思いますが、条例制定から10年経つので、何かできればと思う。</p>
	事務局	<p>若い頃から手話に触れるということはとても大切だと思っている。</p> <p>こちらから学校に、授業の内容をこうしてほしいということは言えないが、全校の4年生にパンフレットを配布しており、次年度も10周年の記念イベントの周知を行う予定なので、通知文の中にこういった取組をお願いしたい、可能な限り手話に親しんでくださいというような内容で周知していきたい。</p>
	C委員	<p>1年生から簡単な挨拶、例えばありがとうや、おはようございます等、1つでも知ってもらえたらと思うのだが、4年生にリーフレットを配布するのはどういった理由なのか。</p>
	事務局	<p>リーフレットについては、手話施策推進会議で委員の皆様と一緒に作成したが、その際に配布する学年について、聞こえない人がいて、手話という言語があるということについて、4年生ぐらいが一番理解してもらいやすいのではないかと、4年生で手話出前講座を受けることが一番多いという理由から、4年生を対象に配布することになった経過がある。</p>
	C委員	<p>リーフレットが読めなくても、何かできそうな気はする。いろいろ事情があるとは思いますが、1年生のうちから何かできればと思う。</p>
	A委員	<p>C委員の意見を受けて、最近、手話サークルに小学生が保護者と一緒に参加することが増えているが、サークルは大体夜7時から9時まで、日中であれば午前中の開催というところで、小学生が手話を学びに行く場所がないということが、自分達の悩みどころ。</p> <p>手話サークルに来てもらっても、どのように教えたり接したりすれば良いのか戸惑うところもある。</p> <p>小学生は夜8時頃に帰っていただくようにしているが、小学校1年生が夜まで頑張ってお手話を学ぶということは、健康面を考えるとやはり夕方時間帯に集まれるような機会があれば良いと思う。</p> <p>働いている方や主婦の方が慈善団体を立ち上げるのは難しいため、できればそういういったことも市で考えていただけるとありがたい。</p>
	会長	<p>可能性として行政がやるものなのか、できないのか、これも含めて検討していただきたい。</p> <p>平成27年に条例ができてイベント以外の取組もいろいろやってきて今に至るが、条例ができて10年になるため、取組の点検と条例の点検が必要なのかと思</p>

		う。
	D 委員	<p>小学生が手話を身につけることはとても良いと思う。全国では、6月に手話施策推進法が制定された。全ての小学校で手話を学ぶカリキュラムを入れ込むという案もあるが、今はまだ決定ではない。</p> <p>先ほど意見があったサークルで、子どもが夜に母親と一緒に手話を学ぶのは難しい。</p> <p>前回の会議でも提案したが、こども手話講座がある。</p> <p>旭川市内の図書館で、手話講座を開催しているが、参加数が少ない。</p> <p>土曜、日曜日だからかは分からないが、皆が集まれる、例えば夏休みの間等、たくさん来ていただける時期をもう少し検討していただければと思う。</p>
	会長	こども手話講座はもう終了したのか。
	事務局	12月から2月まで開催する予定。現在、東光図書館が修了しており、このあと1～2月に残り4か所で行う予定。
	F 委員	<p>今の話にも少し関連してくるが、自分のいる手話サークルには子どもが3人来ており、何時までいるかは御家庭にお任せしているが、子ども達は自主的に勉強したいと言ってサークルに通っている。</p> <p>そのぐらい子ども達は手話を学びたいという意欲がある。また、手話を覚えるのがとても早いので、毎週通っている子は2か月程度で聞こえない方とコミュニケーションができるようになっている。</p> <p>子ども達は吸収が早いので、手話のできる方がどんどん増えていく。この部分については市の考えだけではできない部分もあるかと思うが、ぜひ積極的に進めていただければと思う。</p> <p>また、イベント等、今までに提案された意見をかなり取り入れてくれて大変うれしく思う。</p> <p>まだ改善が必要な部分もあるが、そこも話し合いながら進めていければと思っているので、今後もよろしくお願ひしたい。</p>
	会長	事務局から何かあるか。
	事務局	<p>本日の審議内容を踏まえ、今後の取組を進めていく。意見交換会について、本日皆様から頂いた意見を踏まえて講演等の内容を整理し、2月上旬から申込みを開始する予定のため、よろしくお願ひしたい。</p> <p>重ねてのお願いになるが、多くのろう者の方の参加が必要不可欠となるため、仕事の都合等もあるかと思うが、ろうあ協会の会員への積極的な周知をお願ひしたい。</p> <p>条例制定10周年記念事業についても、皆様からいただいた意見を踏まえて内容を整理させていただく。</p> <p>災害用バンダナについては、旭川ろうあ協会に御相談させていただきたい。</p> <p>次回の会議の開催は、新年度になるが、7月頃を予定している。</p>
	会長	<p>本日の会議の議事録確認はF委員にお願ひする。</p> <p>(閉会)</p>